

がんセンター

便り

宮城県立がんセンター地域医療連携室

診療科
紹介

頭頸部外科

頭頸部外科 診療科長 松浦 一登

当科の概要

当センター開設時に耳鼻いんこう科（頭頸科）として医師2名でスタートしましたが、現在は常勤医師5名とレジデント3名で頭頸部腫瘍の診断・治療を行っています。平成25年には専門性を鑑み、「頭頸部外科」と改称されました。入院病床数は35床であり、1年間の新規頭頸部癌患者数が約180人、年間手術件数は250件前後です。

当科の特徴

頭頸部領域には喉頭、咽頭（上・中・下）、口唇・口腔（舌、歯肉、口蓋など）、鼻腔・副鼻腔、唾液腺、甲状腺、頸部食道があり、これらが治療範囲です。この領域は摂食・嚥下、呼吸・構語、味覚・嗅覚などの機能を有し、顔貌といった外から見える部分でもあるため、開設当時から生存率の向上を目指すと共に治療後のQOLを重視した治療を行ってきました。標準的治療を第一に行っていますが、手術治療においては積極的に機能温存手術の導入を進め、喉頭癌や下咽頭癌、進行口腔癌に対する喉頭温存手術を行っています。特に早期咽頭癌に対する内視鏡手術は、県内適応症例のほぼ全てを治療しています。進行癌の手術治療では複数の診療科と共にチーム医療を行っており、症例によっては形成外科が移植再建手術を行っています。一方、本年4月に新設された頭頸部内科と共同して、標準的な化学放射線療法や超選択的動注化学放射線療法を行うのみならず、新規抗がん剤を用いる臨床治験にも数多く参加し、患者さんの治療法選択の幅を広げる陣容となっています。その他に全国の頭頸部癌治療における拠点病院としてJCOG 頭頸部がんグループに所属し、新しい治療法の開発を多施設共同で行っています。

スタッフ紹介

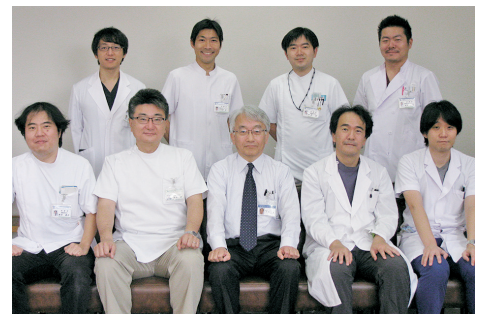
平成28年10月現在のスタッフは、松浦一登（診療科長・専門医）、浅田行紀（専門医）、今井隆之（専門医）、森田真吉（専門医）、西條聡（専門医）の5名、レジデントは大久保淳一（専門医）、青井二郎（専門医）、若盛隼の3名です。

診療状況

外来診療日は月・火・木の3日（午前・午後）であり、火・水・（木）・金は手術日となっています。また、金曜日の午後は頭頸部エコー検査日となっており、甲状腺や頸部腫瘍の精査を行っています。

診療実績

根治治療を行い得た癌の治療成績（疾患特異的5年生存率：1993～2008）は、喉頭癌88%、中咽頭癌54%、下咽頭癌43%、口腔癌60%、上顎癌59%でした。近年は治療法や抗がん剤の進歩により治療成績の向上が認められ、中咽頭癌で60～70%、下咽頭癌でも70%以上の生存率が得られるようになってきました。頭頸部癌では重複癌・多重癌の症例が多く、治療開始前の胸腹部の検索は必須と考えます。当科では2～3割の患者さんに他癌を認め、他科と合同で治療にあたっています。高度な技術を要する機能温存手術は当科の特徴の一つであり、こうしたオプションの手術治療法を提示できる施設は国内においても数少ないと考えます。また、機能温存治療の柱の一つである超選択的動注化学放射線療法は開始以来200例を超える症例を持ち、これは国内においてトップクラスの実績です。



上段左から 若盛・大久保・西條・青井
下段左から 森田・松浦・西條理事長・浅田・今井

新しく頭頸部内科ができました

頭頸部内科 診療科長 やまざき ともこ 山崎 知子



平成 28 年度より宮城県立がんセンターに頭頸部内科という新しい診療科ができました。

主に頭頸部がんと甲状腺がんの化学療法（抗がん剤・分子標的薬を使用したもの）・化学放射線療法、鼻腔悪性腫瘍（悪性黒色腫など）の化学療法を行っています。そのほか、他施設と共同した臨床試験、新薬の安全性、効果などをみる国際共同治験にも携わっております。

頭頸部がんを治療するにあたって、頭頸部外科・形成外科・放射線治療科・放射線診断科・歯科を含め他科との連携が必須です。当院では毎週火曜日に合同カンファレンスを行い、患者さんおひとりおひとりの治療方針を決定しています。同時にがん治療には口腔ケアが必須です。がん治療中・治療後の患者さんのお口の中をきれいに保てるように、岩沼歯科医師会と協力した歯科診療の取り組みを始めたところです。

いままで頭頸部がんの薬物治療はプラチナ系の薬剤が中心でなかなか進歩がありませんでした。最近になってセツキシマブなどの分子標的薬や免疫療法など、期待できる薬剤が増えてきています。新規の臨床試験や治験のお話しも当院に来ておりますので、ぜひ患者さんをご紹介いただけますと幸いです。

宮城県立がんセンターにきたきっかけは、頭頸科科長の松浦先生に誘われたことと、自分が東北地方（岩手県大槌町）出身ということがあります。当院に来る前は千葉県にあるがんセンター東病院に7年間勤務しており、そのときからいつかは東北地方に貢献したいという願いがありました。

私の夢の一つに、東北地方全体の頭頸部がん患者さんに、標準治療はもちろんのこと、治験や臨床試験においても、前施設と同じような治療の機会を提供できるようにするということがあります。そのためには、宮城県内のみならず東北地方の他県の先生方のお力、お知恵をお借りしないとなりません。同時に医科歯科連携を急ピッチで行う必要もごさいます。みなさまにいろいろ、お願いする機会もあると思います。何卒よろしくお願いいたします。

日々の臨床において心がけていることは、「大切な人と接するように」患者さんを診療することです。旅館を営んでいた父がよく私に、宿泊されるお客様を接遇するときは「大切な人と接するように」接していると教えてくれました。旅館と病院は人とかかわるという点で共通しており、私も意識するようになりました。

大切な人たちには、家族がいたり友人がいたり近所の人だったり、生きてきた分だけ様々なつながり、歴史があります。患者さんやそのご家族が宮城県立がんセンターで頭頸部がんの治療をしてよかった、と言っただけのような科にしていきます。そして丁寧な臨床の積み重ねが当院の発展、東北および日本の頭頸部がん治療の向上、発展に結びつくと信じています。



「宮城県立がんセンター 地域医療連携の会」報告

医療局長兼地域医療連携室長 やまだ ひでかず 山田 秀和

第2回の「宮城県立がんセンター 地域医療連携の会」が10月26日(水)に江陽グランドホテルで開催されました。地域医療連携の会は日ごろお世話になっている関連医療機関の方々と懇親を深めるのと同時に、当院での診療内容をご参加頂いた方々に紹介できる貴重な場と位置付けています。昨年からはまった本会は消化器内科・外科が中心の会でしたが、今年は消化器に加えて呼吸器科関連の内容を加えた会といたしました。

当院からの講演内容は以下の通りでした。

- ・消化器内科：及川 智之「消化器内科医が手術室で行う内視鏡治療の現状」
- ・呼吸器内科：前門戸 任「ここまで来た。肺癌治療の進歩～免疫治療と分子標的薬～」
- ・緩和ケア内科：中保 利通「宮城県立がんセンターにおける緩和ケアの提供体制」
- ・放射線治療科：藤本 圭介「宮城県立がんセンターにおける放射線治療の現状」

昨年は講演会の時間が延び、出席方々にご迷惑をおかけしましたが、今年は演者の協力によりほぼ時間内に講演会を終えることが出来ました。講演会終了後には出席者からたくさんのお褒めの言葉を頂戴し、大好評の講演会となりました。また講演内容や本会の企画に関するご要望もあり、ぜひ来年の本会への参考にしたいと考えています。当日の院外からの出席者は89名で院内からの参加を合わせると146名となり、昨年を大幅に上回る人数となりました。ご参加いただいた方々に改めて感謝申し上げます。

宮城県立がんセンターでは関連医療機関との良好な連携は、病院の最重要事項の1つと考えています。これからも関連医療機関の方々と、実際に顔を合わせて意見交換ができる本会を継続・発展させていきたいと考えています。



院長 小野寺 博義 あいさつ



地域医療連携室長 山田 秀和



消化器内科 及川 智之



呼吸器内科 前門戸 任

第13回 がんセンターフォーラム開催のご案内

日時:平成29年2月18日(土) 9:00~16:00

場所:宮城県立がんセンター 1階 大会議室

内容:各部門のからの研究・報告等の発表

参加費無料

申し込み不要

ご都合の付く時間に
ご参加ください

【特別講演】 テーマ: 未定 講師: 未定

問い合わせ先:宮城県立がんセンター 総務課 米澤



外来新患診療体制表

平成28年11月現在



(宮城県立がんセンター)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
消化器科	新患	●	●	●	●	●
	専門外来	下部・肝臓	肝臓	上部・胆膵	肝臓・下部	上部消化管
血液内科		●		●		●
腫瘍内科		●		●		
呼吸器内科		●	●	●	●	●
呼吸器外科				●		●
乳腺外科		●			●	
消化器外科			●	●		●
整形外科			●		●	●
脳神経外科		●		●		●
頭頸部外科		●	●		●	
形成外科			●			●
婦人科		●	●		●	
泌尿器科		●		●	●	
放射線治療科		●	●	●	●	
緩和ケア内科				●		●

*消化器科では、専門外来の診察日にも紹介患者さんの予約を受け付けております。お申し込みの際にご確認下さい。
診療受付時間:午前8時30分~11時00分 TEL 022-384-3151(代) FAX 022-381-1169 (地域医療連携室)



交通案内

J 桜交 R 東北本線名取駅下車、バスまたはタクシーを利用
仙南交 名取駅西口から「県立がんセンター線」(なとりん号)を利用
自家用車 名取駅西口から「北目上原線」(なとりん号)を利用
仙台南インターからは、国道286号バイパス経由
県道仙台・岩沼線を利用 (所要時間約15分)

地域医療連携室のご案内

地域医療機関の先生方からご紹介を受けた患者さんの診療予約をお取りしてスムーズな受診ができるようにしております。

- 受付 午前8時30分~午後5時15分
- TEL (022) 381-5152 (直通)
- (022) 384-3151 (代) 内線123
- FAX (022) 381-1169 (地域医療連携室)

宮城県立がんセンター
〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山47の1
電話(代表) (022) 384-3151 FAX(企画総務課) (022) 381-1168

□ゴマークの3本の柱は「治療、予防、研究」を、上の「まる」は患者さんを表わしています。3本の柱が、患者さんを支えるという意味です。